



令和元年を迎えて

ひとさじの会 代表 高瀬顕功



先日の夜回りのこと。ある男性が、繁華街のアーケードで寝ていたら夜中の2時に警察を呼ばれて追い出されてしまったと話してくれました。4月とはいえ花冷えのする気温が続く日でした。

その夜は多くの人が深夜の寝込みを起こされ、寒い中夜の街を歩くことになったようです。また、ある男性は「生活保護の申請を手伝ってあげるから、うちの寮に入らないか」と声を掛けられたそうです。これ幸いとしていったところ、寮費、共益費、光熱費、食事代など合わせて毎月10万円以上支払わなければならない契約を示されたため、翌日こっそり抜け出して路上へ戻ったとのこと。

私たちは日々の生活の中で、ここまで排除や搾取の対象になることはないでしょう。でも、活動中にこのような話を聞くことは珍しくありません。

おにぎり通信

No. 04

ひとさじの会ニュースレター 2019

2019年6月20日

発行：社会慈業委員会（ひとさじの会）

〒111-0022 台東区清川 1-8-11 光照院内

hitosajinokai@gmail.com

http://hitosaji.jp

目次

- 1頁 令和元年を迎えて
- 2頁 平成30年度活動報告
- 5頁 令和元年度活動予定
- 6頁 りんりんふえす2018開催レポート
- 7頁 ひとさじの会参加者感想
- 8頁 決算報告 支援協力御礼

おかげさまで、2009年の秋に始まった夜回り活動はもうすぐ丸10年を迎えます。月に2回、雨の日も雪の日も続けてきたこの活動も、230回を超えました。近年は、東京オリンピックの影響が路上で生活されている人も減ってきました。なかには体がしんどくなってきたからといって福祉（生活保護）を受け、路上から脱した方もいます。

路上で生活する方の数が少なくなり、私たちの活動が縮小していくことは望ましいことですが、生きづらさを抱えた人がたんに見えづらくなっている、見えづらくさせられている結果でないことを願うばかりです。

平成が終わりを告げ、令和を迎えました。来年にはオリンピックが控えています。新たな時代の幕開けと華やかなイベントの陰で、ひょっとしたら辛い思いをしている人がいるかもしれません。新しい時代が、誰にとっても、ありのままにいられて、暮らしやすい世の中になるよう、微力ながらこれからも活動を続けてまいりたいと思います。つながることで、かかわることで、縁を支える。私たちの「支縁」活動に、これからもご支援、ご協力を賜れば幸いです。

合掌

○平成 30 年度の活動報告

○炊き出し・夜回り支縁

- ・ 期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- ・ 開催日数 27 回(原則として毎月第一・第三月曜日)
- ・ 配食数 (おにぎり) 4468 個
- ・ 医療・物資配布数 2616 点
- ・ 配食ボランティア 644 人 (事前連絡者のみ)

平成 30 年度 12 月以降の活動では、出会う路上生活者が大幅に減少しました。昨年の夜回りで出会う人の数が最も多かった時は 223 人でした。ところが、年明けからは 170 人を超えることがなくなりました。この 50 人前後の人達は、どこへ行ったのでしょうか。その理由は、いろは商店街のアーケードがなくなったことや、高齢の路上生活者が亡くなっていったということだけではないでしょう。路上生活者減少の背景には、オリンピック前に公園に生活する人々を移動させようとしている行政側の思惑もあるのでしょうか。上野公園では、夜に台東区役所の職員などが訪問し、生活保護の申請を促していたという話を聞きました。高齢の路上生活者のなかには、そうした働きかけによって生活の場所を移行した人々もいます。単なる排除ではなく、しっかりと地域生活への移行が進むのであればよいかもしれません。ただ本人がつながりをもつ仲間と会えなくなり、孤立した生



炊事中 (おにぎり) の様子



炊事中 (春巻き) の様子



色々なあめ玉を袋に



手を合わせてから配食に向かいます

活を送ることにならないことを祈るばかりです。もちろん、人数が減少したとはいえ、いまだ一度の配食に170名ほどの人達が待って居てくださるのも事実です。ひとさじの会では、今後も丁寧に路上の方々のところをたずねて歩きながら配食を続けていきます。

〇葬送支縁

〈山友会有縁の方〉

- ・ 棚経 1件 7月13日 (山友会新館2階)
- ・ お墓詣り 4回 (山友会の墓)

〈コスモス有縁の方〉

- ・ 納骨供養 2件 4月28日 (観音供養塔)
- ・ 12月21日 (コスモスの墓) ※43名分
- ・ 出棺式 1件 9月13日 (コスモス)

〈あうん・ほしのいえ有縁の方〉

- ・ 納骨供養 1件 9月8日 (観音供養塔)

〈きぼうのいえ有縁の方〉

- ・ 出棺式 1件 5月1日 (きぼうのいえ)

〈もやい・つくろい東京ファンド有縁の方〉

- ・ 法事 1件 7月1日 (光照院)
- ・ 納骨供養 2件 10月12日 (結の墓)
1月11日 (結の墓)
- ・ 棚経 2件 7月10日 (カフェ潮の路)
7月21日 (もやい事務所)
- ・ 合同法要 1件 10月12日 (光照院本堂)
- ・ 葬儀 3件 8月31日 (野方グリーンホール)
10月19日 (野方グリーンホール)
3月1日 (代々幡斎場)

- ・ お墓詣り 3回 (結の墓)

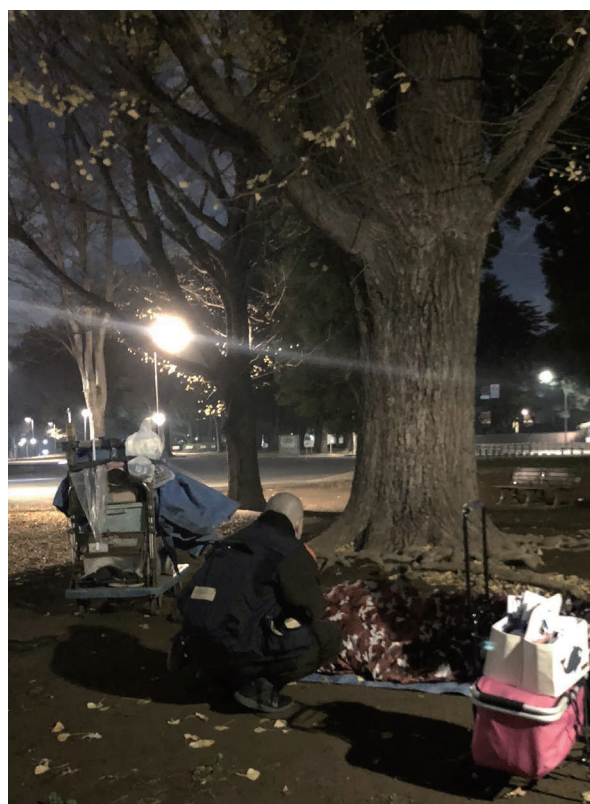
〈夏祭り慰霊法要〉

- ・ 山谷夏祭り実行委員会慰霊法要
8月4日 (山谷玉姫公園)
- ・ TENOHASI 慰霊法要
8月11日 (東池袋中央公園)

平成30年度は、これまで追悼法要を行ってきた(社団)つくろい東京ファンドやNPOもやい、NPO山友会の他に、企業組合あうんやほしのいえ、山谷の訪問看護ステーションコスモスに縁のある方の法要を執り行いました。



おにぎりと春巻き



おにぎり配食の様子



山谷夏祭り(玉姫公園)

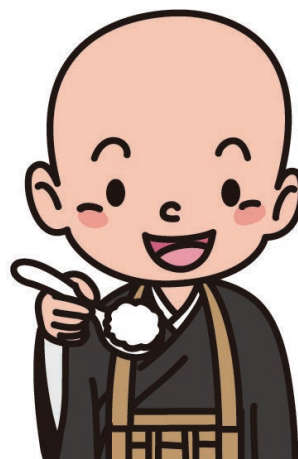
なかでも印象深かったのは、コスモスの葬送支縁のことです。コスモスは昨年末に山友会の墓のお隣に自身の団体のお墓を設け、過去20年以上の活動のなかでお見送りした方々43名の遺骨を埋葬しました。コスモスの看護師たちは、自分の出来るかぎりの力を尽くして、簡易宿泊所にも訪問し、最期までその人の生き心地を大切にしながら看護を行っています。しかし、どれほど心を尽くして看護をしても、人は亡くなってゆかねばなりません。きっと精一杯、目の前の人のために尽くす心があるからなのでしょう。コスモスの看護師たちは、かかわってきた大切な方が、この世を去るときに、もっとできることがあったのではないかと謝ったり、教えてもらったことへの感謝の気持ちを告げたりしながら、葬送の時も、墓参の時も誠に丁寧にお参りをなさいます。そのような姿を目にしていると、葬送とはいったい誰のものであるのかを考えさせられます。今後も諸団体の方々と一緒に葬送や墓参を行うことを通じて、結ばれたご縁を大切に想い、心を寄せていく時間の豊かさを大事にしていきたいと思います。

また、H30年度は、7年以上も前からひとさじの会の炊き出しを手伝ってくださっていた80歳のYさんが亡くなりました。最愛の妻を半年前に亡くし、結の墓に埋葬したばかりでした。元ホテルマンであったYさんは、ひとさじの会の活動にて他人が行う作業に必要な事前作業をあらかじめ考えて、他人が作業しやすいように準備を丁寧にしてくださっていました。子どもと一緒に作業する時の笑顔と、「きれいだよ」と亡き妻の頬に手をあてて声かけしていた時の表情がいまも忘れられません。数年間、病気で動かなくなった妻のもとに毎日通い、身体を何時間も揉んで、妻の笑顔を見ることが日課だったYさん。妻の亡きあとは、その命日とひとさじの会の活動の日のお墓参りを欠かすことがありませんでした。いまはこの世に遺した身体も結の墓のなかで一緒、その心はいうまでもなく極楽浄土で再会を果たしているに違いありません。

○施米支縁

- ・ひとさじの会が受け取った施米：約1688kg
 - ・ひとさじの会が他に届けた施米：約1355kg
- ※この他、お菓子類、果物缶、新玉ねぎ、餅、タケノコ、みかん、しょうゆ、みそ、海苔、マスク、ホッカイロ、タオル、洗濯石鹸、等も頂戴し、他の団体と共有している。

平成30年度も、浄土宗滋賀教区青年会様主催の「近江米一升運動」や全国の浄土宗寺院からお米がひとさじの会に届けられました。また、この活動を理解して応援くださる全国の個人や団体、諸宗派の寺院様や檀信徒様よりお米を頂戴しています。今年も1トン以上のお米が集まりました。これらのお米は、例年通り、ひとさじの会の活動で配られるおにぎりに使われる他、浅草山谷地域で活動する認定NPO山友会様や、NPOきぼうのいえ様、NPO友愛会様、NPOフードバンク等の関係団体、こども極楽堂における子ども食堂や児童養護施設の卒園生等、「食」を必要としている方々にお福分けをさせていただきました。また、今年度は、在日ベトナム仏教信者会「随縁禅室」メンバーが、3トンのお米を買い付けて、ひとさじの会以外にも、山谷の諸団体や在日外国人の技能実習生や留学生に直接配ってくださいました。国籍も人種も越えての施米支縁が、今後も続くように願います。



○令和元年度活動予定

今年度の活動予定に関して

今年度の活動予定として重要なものが3つあります。まず1点目は、寝袋支縁です。

平成30年度の冬には、在日ベトナム仏教徒たちの提案によって、質の良い寝袋を配布するようになりました。安い寝袋は薄いだけでなく、すぐに劣化してしまうことから、結局一時的に寒さをしのぐだけのものになってしまいました。そこで、厚手の生地を着脱が可能な寝袋を用意することで、夏場でも使用でき、極寒もしのげるようにしました。今後は、毎年必ず200個の寝袋を配るのではなく、長く利用できるものを必要な人に手渡してゆくことで、捨てられてしまう寝袋も減らせるようにしていくことも考えていきます。また、今年度には寝袋を購入するための予算も計上されることになっていて、寝袋の配布は、これからのひとさじの会の正式な活動の一つとして続けていく予定です。

2点目は、施米支縁事業を力強く推進し続けている滋賀支部に仏供米などの浄米を保管する低温冷蔵庫を設置することです。同支部長の曾田俊弘師は、十年以上も米一升運動の推進と実施の中心を担ってきただけでなく、滋賀県内のフードバンク活動にも積極的に参加してきました。昨年には、滋賀県社会福祉協議会によって県内各地に開設された「淡海子ども食堂」への協力や、食品ロスを社会資源に有効に活用する「食と生活のセーフティーネットワーク」の構築を通じて、持続可能な地域社会づくりを推進するためのNPO「フードバンクびわ湖」を立ち上げています。すでに曾田師は「もったいないを「絆」と「笑顔」に！」を合言葉に、周辺自治体の窓口や社協、子ども食堂、自立支援組織、児童養護施設、外国人学校や困窮世帯への食糧配達を開始し、阿弥陀如来さまからのお福分けのお米を、支援を求める人に平等にいきわたらせるネットワークを創出しています。ひとさじの会としては当会滋賀支部に低温冷蔵庫を設置することで、その後方支援を行い、より多くの人々のもとに如来さまのお慈悲の御心が届けられるように応援い

たします。(曾田師の活動については、大谷栄一編『ともに生きる仏教—お寺の社会活動最前線』(2019、ちくま新書)に詳しく論じられています)。

3点目は、提携連絡事業である「りんりんふえす」の山谷開催です。音楽家でエッセイストでもある寺尾紗穂が呼びかけ人となり、ホームレス状態の人々への支援活動を応援するアーティストたちや貧困問題に関係する団体によってはじめられた、音楽の祭典と座談会をセットにしたイベントが「りんりんふえす」です。これまで南青山の梅窓院祖師堂というコンサートホールをお借りして9回の開催実績があり、これまでに参加したアーティストは50組を超え、なぎら健一氏や故ムッシュかまやつ氏のように年配の方に良く知られる方や、アジアン・カンフー・ジェネレーションのGotch氏のように若い人に人気の方まで参加しています。会場には、好きなアーティストの音楽を求めてやってくる人だけでなく、乳幼児を連れた親子もホームレス状態の人も外国籍の人々も集まり、所属や国籍等に関係なく共に表現を楽しむことで、多様な人々が共に居る空間の良さを体感してもらえるような場になっています。また、座談会では、子どもの貧困や住まいの貧困の問題、その他、多くの社会課題を議題に挙げて、可能な限り会場に集まる人たちと社会の問題を共に考えて共有する時間にもなっています。

今年度は、多くの行き場のない人たちを支えてきた山谷という街のことを、広く知ってもらう機縁にしようと、寺尾氏や関係する諸団体と共に、このイベントの山谷開催を決めました。現在、40代以下のほとんどの人が山谷を知りません。戦後、GHQの指示によって身寄りなき人を取容したテント村だった歴史も、戦後の高度経済成長期や東京オリンピックの実現も下支えしてきた街であることも知られていないのです。いまでは身寄りのない人々を最期まで支える場所として機能し、昨今では、東京の20年先の医療や福祉を行っている町であるとの評価もあり、海外からも研究者たちが訪れている街になっています。山谷を広く知ってもらうことは、社会におけるマイノリティの人を真に包摂する社会の構築を進めていく上でも欠かせないものであ

り、それはやがて地域福祉や地域医療の発展にもつながるものでしょう。当会では、このイベントを通じて、ひとさじの会が活動を行う山谷の歴史の負の部分だけでなく、本当に孤独な状態で生きねばならない人たちのことを支え続けている人々の在り方を学び、心を寄せてもらうきっかけにもしたいと考えています。活動開始から10年を迎える当会の今年度の活動は、日頃の炊き出し夜回り事業に加えて、以上の3点を中心に行ってまいります。

合掌

〇りんりんふえす 2018 開催レポート

文責：工藤量導

ホームレスの方々が販売する雑誌ビッグイシュー（販売価格350円のうち180円が販売者の収入となる）を応援するイベント「りんりんふえす2018」を10月27日に共催しました。当日は200人以上が来場。今年も在日ベトナム仏教信者会の皆さんが、作りたてホカホカの精進揚げ春巻きの炊き出しをおふるまいくださり大変に好評でした。

音楽部門はイベント発起人の寺尾紗穂さん、路上生活者のダンスチームのソケリッサをはじめ

とする計5組が出演しました（坂口恭平さんは体調不良のため出演キャンセル）。マレウレウというアイヌの伝統歌の再生と伝承をテーマに活動する女性ヴォーカルグループは、さまざまなリズムパターンや輪唱などによって会場内を不思議な天然トランスな感覚へといざないました。座談会のテーマは「ようこそ、ごちゃまぜの社会へ」。進行役を吉水岳彦事務局長がつとめ、ゲストの井上温子さん（NPO法人ドリームタウン代表理事、板橋区議会議員）は「暮らしをシェアする地域リビング」と題して「おうちごはん」などの活動を紹介し、またビッグイシューの販売者さんは自身も参加するダーバシティサッカー&ホームレスワールドカップについて楽しそうにお話してくださいました。どの活動もさまざまな人たちが世代や立場を越えて交流しあって、まさに「ごちゃまぜ」の魅力が存分に発揮されていました。

アンケートには「素直に心が開くような、涙が出てしまうような空間でした」「皆とがってとても独特、個性的。それでも全体が輪になっていて、日輪のようで光々しかった」「座談会の聴衆が一番多いというのも印象的です」「あらためて多様性（ごちゃまぜ）の良さに気づきました」などさまざまな声がありました。

今年度でとうとう一区切りとなるラストの10回目。日程は未定ですが、はじめての野外開催となる予定です。乞うご期待ください！



○ひとさじの会参加者感想

文：有村 文音

●活動に参加して(参加日 2018年6月4日)

私は地元が三重県で少し遠かったのですが、疲れを吹き飛ばす位本当に心底参加して良かったと思える活動でした。

15時前に集合をして、外国の方(今回はベトナム人)と皆さんで炊き出しをしながら色んなお話、意見交換をしたり、炊き出しの作業だけでもものすごく自分にとってプラスになるようなことばかりでした。

19時頃から各自班に別れて、私は隅田川の所に行かせて頂きました。私の班は自分を含めて5人の班でした。初めての参加で手も足もでない私に対して皆さんが本当に親切で暖かく受け入れてくださいました。

私は先頭でホームレスの方にチラシ、おにぎり、飴を配膳しながら歩いていました。

最初は正直、不安と、夜でもう暗かったたので少し怖かったのですが「こんばんは、ひとさじの会です」と一言声をかけたら、「はいはい」と言って、ブルーシートの中から出て来てくださりました。

「ひとさじの会です」と伝えたらものすごく安心しているような表情に私は見えました。先生やひとさじの会で活動してる人を心底信頼してるんだなと私は感じました。

ボランティアをするということは、自ら相手になにかをわざわざするというイメージが世間ではあるかもしれませんが、私は自ら活動をすることによって自分自身が新しい発見と、得るものが大きく、色んな方の現状や、これからどうしたらいいのか、自分自身が学ぶ事、気づくことが多いと思います。

今回は、貴重な体験をさせて頂いて本当にありがとうございました。

最後になりましたが、吉水さん、他の先生方へ今回、本当に貴重な体験をさせて頂いてありがとうございます。

私は今まで本当に正直な思いですが、ホームレスの方にはいい印象があまりありませんで

した。でも今回この活動を知り、参加をして、そうでは無いということ学びました。

ホームレスの方は毎日毎日必死で、命がけなんだということ、日本の真ん中の発展している東京でも

まだまだ解決しなくてはいけないことが沢山あるなと痛感しました。

この活動や自分の思いをもっと周りに発信していきたいと思います。皆さんの心の暖かさや、人情深さや、1人1人の笑顔が素敵な所を陰ながらみていて、とてもいい団体だなと思いました。

私は海外や震災や様々な活動をしてきましたが、こんなにも素敵で心から居心地が良いと感じた活動は初めてでした。

沢山の学びと、素敵な出会いを心から感謝しています。毎回の活動へ参加はできませんが…東京へ行く機会がある時は連絡させて頂きます！

皆さん、お身体にはお気をつけください^^またどこかで皆さんにお会いできることを楽しみにしています(^^) 本当に、本当に、ありがとうございました。



炊事に参加された方々

平成 30 年度決算報告

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日
(単位:円)

収入の部

| 科目 | 項目 | 細目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 備考 |
|-----|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------------------------------|
| 賛助金 | 賛助金 | | 2,000,000 | 2,346,343 | ▲ 346,343 | 会員及び正規会員の賛助金、並びに諸団体の賛助金(太田慈光会40万円)の合計 |
| | 事業協力金 | | 500,000 | 480,000 | 20,000 | (公財)浄土宗ともいき財団より事業協力金として48万円 |
| | 合計 | | 2,500,000 | 2,826,343 | ▲ 326,343 | |
| その他 | 雑収入 | | 10,000 | 3 | 9,997 | 銀行口座利息 |
| | 繰越金 | | 3,059,579 | 3,059,579 | 0 | 前年度繰越金 |
| | 合計 | | 3,069,579 | 3,059,582 | 9,997 | |
| 総計 | | 5,569,579 | 5,885,925 | ▲ 316,346 | | |

支出の部

| 科目 | 項目 | 細目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 備考 |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---|--|
| 事業費 | 炊き出し費 | 食材 | | 203,946 | | アメ(¥114,812)、おにぎり(¥20,370)、その他食材ふりかけ等(¥68,764) |
| | | 医薬品 | 1,000,000 | 97,770 | 79,184 | 医薬品 |
| | | 配布物 | | 689,373 | | 下着類、寝袋(¥261,460)、軍手、カイロ、交通費等 |
| | | 消耗品等 | | 127,078 | | サラララップ、紙コップなど |
| | 合計 | 1,000,000 | 1,118,167 | ▲ 118,167 | | |
| 研修会費 | 設営費、講師謝礼等 | 150,000 | 0 | 150,000 | | |
| 活動推進費 | 企画製作費 | 300,000 | 85,340 | 214,660 | ホームページ、バッチ、おにぎり通信、リーフレット等 | |
| 設備費 | 倉庫等 | 700,000 | 657,240 | 42,760 | 炊き出し会場賃貸費[(公財)浄土宗ともいき財団の賛助金から支出] 光照院へ消耗品費(月10,000円×12)、不要品回収代、 | |
| 提携事業費 | | 300,000 | 187,795 | 112,205 | りんりんふえす(¥37,625)、夏祭り(¥50,170)、祈りの道助成金(¥100,000) | |
| 交通費補助費 | | 300,000 | 125,670 | 174,330 | 夜回り時の交通費 | |
| ごくらくの自給菜 立ち上げ準備費 | | 500,000 | 46,857 | 453,143 | 極楽堂備品 | |
| 特定活動費 | | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | ※H30年度予算内の滋賀支部の冷蔵庫、災害時緊急支援使用無し | |
| 合計 | | 4,250,000 | 2,221,069 | 2,028,931 | | |
| 管理費 | 人件費 | | 600,000 | 0 | 600,000 | |
| | 事務費 | | 220,000 | 125,542 | 94,458 | 事務用品、会計庶務費(月6,000円×12) |
| | 通信費 | | 100,000 | 33,178 | 66,822 | 郵送料等 |
| | 会議費 | | 100,000 | 37,399 | 62,601 | 理事会会議費等 |
| | 雑費 | | 10,000 | 28,948 | ▲ 18,948 | 会員葬儀花代、振込手数料 |
| 合計 | | 1,030,000 | 225,067 | 804,933 | | |
| 予備費 | | 289,579 | 0 | 289,579 | | |
| 総計 | | 5,569,579 | 2,446,136 | 3,123,443 | | |

| | |
|--------|-----------|
| 総収入 | 5,885,925 |
| 総支出 | 2,446,136 |
| 次年度繰越金 | 3,439,789 |

平成 30 年度 寄附寺院・団体 (順不同敬称略)

(公財)浄土宗ともいき財団、(一財)太田慈光会、在日ベトナム仏教信者会、認定 NPO もやい、テラネット、回向院(墨田区)、福泉寺(甲賀市)、正覚院(江東区)、真勝院(葛飾区)、正光寺(北区)、泉福寺(江戸川区)、大蓮寺(川崎市)、光源寺(文京区)、法字寺(長野市)、妙雲寺(益田市)、圓通寺(江東区)、慶岸寺(横浜市)、宝蓮寺(栃木市)、十念寺(長野市)、大王寺(春日部市)、長伝寺(港区)、浄念寺(桶川市)、常行院(松戸市)、妙長寺(河内長野市)、西光寺(石巻市)、地藏寺(有田市)、実相寺(本庄市)、安養寺(江戸川区)、西福寺(厚木市)、來運寺(天童市)、大長寺(鎌倉市)、真行院(台東区)、法源寺(富士市)、良心寺(横須賀市)、誠心寺(江戸川区)、常念寺(仙台市)、実性寺(足立区)、成覺寺(仙台市)、雲上寺(塩竈市)、長昌寺(杵築市)、満蔵寺(いわき市)、浄光寺(上山市)、眞福寺(飯塚市)、菩提院(いわき市)、西蓮寺(米沢市)、浄運寺(須坂市)、西門寺(足立区)、瑞泉寺(台東区)、定泉寺(文京区)、大道寺(大阪市)、極楽寺(宇部市)、安養寺(大分市)、ひとなべ会員4人、ひとはち会員70人、ひとさじ会員33人

浄米・物資寄付並びに活動協力寺院・団体 (順不同敬称略)

泉水寺(富津市)、良心寺(横須賀市)、照光院(江東区)、西念寺(福島県二本松市)、善光寺(松戸市)、正覚院(江東区)、來運寺(天童市)、在日ベトナム仏教信者会「随縁禅室」、天然寺(木島平村)、大雲寺(江戸川区)、光明院(流山市)、宗圓寺(台東区)、來迎寺(香取市)、正定寺(古河市)、回向院(墨田区)、東光寺(板橋区)、仏教伝道協会、大船渡市天使の森、善福寺(砺波市)、熊本県水俣市さくら農園、東京都足立区児童養護施設クリスマスピレッジ、シンママ熊本応援団。この他、多くの個人からのご寄付を頂戴しております。ご支援下さったすべての方に深く感謝を申し上げます。

ひとさじの会代表 高瀬頭功拝